

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所  
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（61）」

2. 日時：令和4年12月16日（金）10時00分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、森田安全審査専門職、加藤

原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田首席技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他10名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）  
「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」  
<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000170.html>
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関する資料提出（令和4年12月12日）  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear\\_facilities/WAS/tokaiL3/meeting/index.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tekigousei/nuclear_facilities/WAS/tokaiL3/meeting/index.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:01	原子力規制庁の数をですね。それでは平成 27 年 7 月に日本原子力発電株式会社から申請のありました東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所、
0:00:13	第二種廃棄物埋設事業許可申請に関するヒアリングを始めたいと思います。
0:00:19	あと本日も自動文字起こし C で対応しますので、発言される際には所属と名前を
0:00:28	言ってから発言をお願いいたします。それでは規制庁側の出席者を紹介します。
0:00:37	原子炉と審査部門よりスゴウをオオツカ、
0:00:43	モリタかと。
0:00:44	放射線廃棄物研究部門より、天田さん、寺下。本日の出席以上になります。便覧からの出席者の紹介をお願いいたします。
0:01:01	出席者になりますけれども、プロジェクト推進室から森口室長代理部長。
0:01:14	小橋グループマネージャー、ノムラタナカ a タケゴシマシモ楽
0:01:23	開発計画室から中上課長、計 11 名の参加であります。以上です。ありがとうございます。
0:01:33	それでは前回 12 月 7 日のヒアリングを受けて修正し、された資料が 12 月 12 日に、
0:01:44	原電から数、提出されてますので、その資料に基づいてヒアリングをしたいと思います。我々もいつも通り我々の方で、
0:01:54	内容は確認してますが、現場の方から何かここを説明しておきたいとかあればお願いします。
0:02:08	カトウのコアシです今回提出させていただいた資料で説明ではないんですけど少し補足として、枚設置環境のところ、折田瀬野より購入量や増加管理の設定のところを少し、
0:02:22	わかりづらいというコメントをいただいてまして、佐田狩野若園という修正を行ったんですけど、まだ少し説明のところ、
0:02:33	不十分かなと思うので、60 の 19 日は次の提出に向けては、流れとか、説明のところわかりやすいとなるように工夫を重ねたいと思いますので、
0:02:45	それについては継続して対応させていただきたいと思います。以上でございます。
0:02:49	規制庁のスゴウです。はい、ありがとうございます。

0:02:52	そしたら、資料1-1からですね、ページに沿って指摘を、
0:03:02	我々からしていきたいと思います。それでは、
0:03:07	12ページですね。
0:03:10	大塚さん、よろしいですか。規制庁の大塚でございます。江藤先生聞こえますでしょうか。そうです。
0:03:22	大丈夫です。%規制庁の大塚でございます修正、ありがとうございました。ですね大分わかりやすくなったと思うんですけども、ちょっと一部ですねこちらの説明が悪かったのか少し趣旨が十分伝わってない。
0:03:36	かなという思うところがあってですね、ちょっと再度申し上げますとですね。
0:03:43	今回修正いただいたところなんですけれども、第1パラグラフのところで、可燃性の化学物質可燃性活動を発生する化学物質は含まれないってところから始まってその次のパラグラフが、コンクリートと接触したその高アルカリの水の話が、
0:03:59	あってっていうん作って作りになってると思うんですけども、
0:04:03	えっとですね前回のちょっとコメントの趣旨はですね、まず廃棄物埋設地の安全機能に影響を与える化学物質として、このABC、
0:04:13	が考えられるみたいに、まず全体としてどんなものがあるのかっていうのを1回整理していただいた上で、このうち、そのAについては、これこれの理由で、
0:04:23	持ち込まないので影響はありません。Bについては、これこれの発生するんですけども、こういう理由で、その影響はありませんみたいですね。
0:04:34	全体の整理からその各論にこう展開していただくと、全体像がわかりやすいので、ちょっとそうそういう構成にさせていただけないかというお願いでした。
0:04:44	ちょっとすいませんこちらこちらの説明が前回悪かったかもしれないんですけども今の説明でちょっとコメントの趣旨伝わっておりますでしょうか。ご指摘ありがとうございますちょっと我々もいただいたコメントを十分に提供できなかったということで、
0:05:04	ですが、まず最初に安全機能に影響する各室の法律はどういうものが考えられるかというところの整理から入って、それは
0:05:15	併記理由があるのかないのかという整理ということで承りました。後ですねこちらの方少し修正が必要かなと思いますので、そうした趣旨で、よろしく願いをいたします。

0:05:28	はい規制庁の大塚でございます。そのような趣旨で、大丈夫です。当然、原電さん側ではそういった整理はされてると思いますのであとはその資料作りのところだけだと思いますけれども、ちょっと
0:05:41	今この資料初めて見る人にも、中身がわかるようにということで、ちょっとその階層的に整理をしていただければと思いますよろしくお願いします。
0:05:49	投票数のコアシで周知しました。
0:05:53	すいません規制庁の盛田です。この2ページについて、私の方からも1点確認させていただきたいんですけども、これについてはちょっとイメージの確認っていう形にはなるんですけども、2ページの中段のご説明いただいているところの中段辺り安全機能のうちっていうところ
0:06:13	で、マター以降ですね、カルシウム性カルシウム成分等過去アルカリ成分との接触による、中間覆土の厚さの減少っていうところは考えられないっていうようなことが書かれているんですけども、
0:06:27	アルカリ成分との接触食うで、この中間覆土の厚さが減少するしないっていう話をされてるんですけども、これは現象としてはどのようなものを想定されているのでしょうか。アルカリ成分によって、
0:06:42	いえ、不動自体が溶けてしまって、間取りなんて液状化ではないですけどもそのような感じで、どろどろになって、薄くなっていくとかそういう話をされているのでしょうか。
0:06:57	消費税の話ですけどもご指摘ありがとうございます。ここはですね、実はこれが実はこの安全機能である遮へい機能のところに影響を与えるような化学物質はないという整理でございます。ただ、我々、先ほどの化学物質として、耐震性というのが出たので、
0:07:16	その影響っていっぱいあってなければならぬだろうという意味で、少しやるんですけどね。
0:07:30	そこを修正させていただきたいと思います。先ほどの大塚さんのご指摘を踏まえて、僕は見直しをさせていただきます。以上です。規制庁の会田です。承知いたしました。
0:07:40	そうですね現状としてちょっとこちらについては、何が起きているのかなっていうところが、こう書かれてしまうと、わからなくなる部分もあるので、そこもちょっと踏まえて修正いただければと思いますよろしくお願いします。
0:07:55	編集部に対して周知しました。
0:07:59	原子力社長の山田でございます。5ページについて、コメントをさせていただきたいんですけども、

0:08:06	5 ページのところ、追加していた。
0:08:10	追加されたところ、これはもう、
0:08:14	方の問題と認識をしておりますずっと話を聞いていった方にはこれで通じると思うんですが、何を言ってることの一つと、被ばく経路について、状態設定の影響がないため
0:08:30	状態設定の影響がないっていうふうに書いてあるんですが、
0:08:33	これはですね、一般的にどの処分場でも、このフローでやったときに、
0:08:39	古閑さんの影響を受けないということではなくて、
0:08:45	4 点。
0:08:46	3 が、今後 3 のところを、説明をすれば、影響を受けてないことはわかりますっていうことだと思いますので、
0:08:55	そういう趣旨で書いていただけますでしょうか。
0:08:59	以前芝さんの話、ご指摘ありがとうございます。そうですね
0:09:08	これだけでは
0:09:09	特に最初の方が 1 回違ったのかなということをわかりましたので、在宅で影響がないのかというのを今回入沢技師。
0:09:20	評価した理由として付け加える必要があるのかなと理解いたしました。対応させていただきます。ありがとうございますそれを全部書こうとすると、小野瀬さんの中身を書かないといけないことになるのではないかなと思うので、後でそこ
0:09:40	を説明するというふうにしてもいいかと思います。例えばですね。
0:09:47	施設の中でガスが大量に発生してそれが紛失をして放射性物質を飛散をさせて、周辺の公衆被ばくするとか、そういうことも
0:09:58	廃棄物特性とかによってはないわけではないわけですよ。そういうことがないということは、後程この 3 ポツの説明の中でされるということになっておりますので、
0:10:09	ここに
0:10:11	そういうことはあれ、これもありません。これもありませんで全部書かっていうのは、
0:10:14	ちょっと難しいんじゃないかなというふうに思います。人間のコアシです。元ありがとうございましたっての理由をすべて書こうとすると少し大変になるので、
0:10:25	そうですね
0:10:27	三国の状態設定の説明の中で、
0:10:32	影響がないことを説明するため、今回は

0:10:36	4分後、説明する時の少し藤木の修正をさせていただきます。ありがとうございます。はい。
0:10:46	例えば声かけたっていうのは例えばですね申し上げますと、
0:10:50	5ポツのところにつきましては、3ポツのところに依存をするシマするが、次回の3ポツについての説明において、鉱物被ばく経路は3ポツの状態設定に依存しないということを説明するため本日の説明。
0:11:07	本日はパスコ飛ばしてって、ご説明いたしますという趣旨をちゃんと日本語がうまく通じるようにしていただければいいと思いますが、そういった趣旨で書くのがいいんじゃないかと思います。
0:11:26	ご協力ありがとうございますSURC印刷で広げます。
0:11:31	戦中あのスゴウです。そしたらちょっと次、7ページなんですけれども、
0:11:37	前回のヒアリングでえっと、あと除外基準とかもってという話で、これで追加していただいて、あと事象の数とかですね。
0:11:49	追加したダムですけど、
0:11:53	これも前回ちょっと指摘した通り、この1-1の資料でできれば内容的に完結させて1-2とかに尼子見比べて、しないようにしたいなと思っていて、
0:12:08	可能であればなんですけど資料1-2の、
0:12:14	補足5-1の添の2-9からですかね第4表ってことで自然現象の選定でその表があって、
0:12:26	各それぞれに対して、除外基準がこれで請求書に対する考え方っていうのがまとめられてると思うんですけど。
0:12:36	この表自体を、この資料1-1の、例えば
0:12:41	最後参考とかでもいいんで、こうなんかくっつけることってできます。
0:12:49	原子力発電の田仲です。ありがとうございます。昨年なんですけれども、資料を、資料1-2付けている資料の説明資料1の添付資料2、
0:13:05	第4表、
0:13:08	ですね、自然現象の選定ということで、選定資産性現象を評価する評価が必要ば、
0:13:18	ちょっともう評価しようかっていうところの考え方を書いてるんですけども、こちらを北井清資料1-1の方に参考として、
0:13:29	そういうことでよろしいでしょうか。規制庁のスゴウですまさにその通りです。多分、

0:13:36	この自然現象何を選定したのかっていうところのこの入口が重要なので、ある程度どう、このよう不要の、その判断の考え方も含めて、
0:13:47	まずちょっと資料2で見れたらなと思ったんで、それはもう本当3個、多分ですねこの後に入るとまた見づらくなっちゃうかもしれないんで参考とかで最後とかでもいいんで、つけてもらえればと思います。
0:14:02	日本原子力発電の田中です。はいコメントありがとうございます。了解いたしました。
0:14:08	はい。
0:14:11	次8ページですかね。はい。オオツカさあよろしいですか。はい。規制庁の大塚でございます。
0:14:23	あと8ページ以降の地質環境等の状態設定のところなんですけれども、前回のヒアリングの際に、指摘した点として、
0:14:35	次の自然事象としてピックアップ一旦ピックアップしたものであって、廃棄物埋設地側で対策を行うことによって、除外するものについては、
0:14:47	通し自然現象等の所を地質環境等の状態設定の中ではじくのではなくて、あと廃棄物埋設地の状態設定の中ではじくという整理をした方がいいんじゃないかというようなお話をして一応そこは合意できていると思っていたんですけれども、
0:15:04	今回資料見ますと、この地質環境等の状態設定の中で一旦エントリーをして、説明は拡張されてるんですけれどもただけ。
0:15:14	結果としてこの地質環境等の状態設定の中で、事象として、はじいているものが幾つかあるように見受けられたんですけれども、そこの整理のやり方を変えたというのは、これはどういう理由が何か理由があるんでしょうかちょっとこれ確認です。
0:15:31	日本原子力発電の田中です。ご指摘ありがとうございます。すいませんこれはこちらの方の認識が至っていなかった点がありまして、私たちの理解では、
0:15:46	地質環境等の状態設定、以降ですね実環境の島の乗車人員も含めて影響事象分析、そのあとの廃棄物の日、
0:15:57	山口的状態設定とあるので、そこのいずれか適切なところで、事象の表としてはじくというところで考えておりました結果して、今回実環境等の状態設定で、一律に
0:16:12	チェックという結果にしていたんですけれども、ご指摘の点踏まえまして
0:16:19	A S分析及び廃棄物ですね、補足説明資料の4になるかと思っておりますけれども、こちらの方で、への記載の方検討したいと思っております。以上です。



0:16:33	はい規制庁の大塚でございます今回ご提出いただいた資料の整理の考え方は理解いたしました。
0:16:39	こちらで少し議論をした際にもですねおっしゃるように、
0:16:43	最終的に状態設定をどこかで、適切に評価して適切に図ればいいんじゃないかっていう、とは、意見とですね、そうは言っても
0:16:56	例えば階層的に整理していった方がわかりやすいので、廃棄物の埋設地の状態図、廃棄物埋設側の対策によってはじかれるものはそちら側の対策とセットで妥当性をはじく妥当性を判断した方がいいからそうした方がいいんじゃないかっていうのは、二つの意見があって、
0:17:13	整理としては後者の方がわかりやすいだろうということでもっとお願いした次第です。
0:17:19	もちろん先行する日本原燃の申請はそこまで明確な整理になっていないんですけれども、今後ですねやはり埋設の審査、申請とすごい多くないものですか、
0:17:31	今後ですねどういう考え方で申請が行われてどういう考え方でこちらは審査を行ったのかっていうのを明確にするためにもちょっとその階層的な整理ってのは大事だと思ってまして。
0:17:41	そういった観点でちょっと再整理をお願いできればと思います。よろしくお願いたします。
0:17:46	日本原子力発電の小中です。ご説明ありがとうございます。当局の理解できました対策を検討することによって、藤の方で評価しているものについて、こちらについては、
0:18:00	今の地質環境等ではなくて、マーケットの方で評価を議論させていただきたいと思います。以上です。
0:18:07	はい。よろしくお願いたします。
0:18:16	原子力規制庁の山田でございます。8ページの液状化のところの一つコメントをいたします。
0:18:26	あと我々の検討の中に、瀬田検討しているところですので、また静本木でもうコメントするかもしれないということでも待ちください。
0:18:39	あとご説明いたしますで、広岡限界を超えないかというご説明をされるということとそれから、その上で、帰属した場合であっても沈下がどうであるかという、
0:18:53	まず影響であるかっていうことを、そんなに、
0:18:56	であるということは理解をしました。で、1ジョーカー、前回の検討の仕方、それから、仮に液状化した時の影響について、それぞれ、

0:19:09	考え範囲が適切かどうかということで今見ております。決してそういう特別な検討をする必要だということをおっしゃってるわけではありませんが、普通の検討としてされてるかどうかという意味で見ておりますので、ばかりは
0:19:27	こうするかもしれませんという状況だけご報告いたします。
0:19:33	日本原子力発電の田中です。ちょっとコメントありがとうございます。検証いたしました。液状化については、三重の議論もありますので、内容についてしっかりと確認してちょっと解析をしたいと思います。ありがとうございます。
0:19:50	以上です。町長のスゴウです今の液状化の話なんですけど一応主張としてはそのFLGが1以上1以上じゃない位置より大きいから、
0:20:05	一応は駅ではしないっていう前提っていうことでいいです、いいですよね。
0:20:13	大分消化発電の阪上でございます。ご質問につきましては、おっしゃられる通り地盤の物性値で-C I G M Aというもので評価して、第三条のほうで、
0:20:30	液状化をしないという評価がえられております。規制庁のスゴウです。そうすると、今の8ページの液状化の主張は、今のFL値のところLowerぶっ飛ばすで、
0:20:45	確か不確かさとか踏まえて一応検討しますの方だけを、
0:20:52	こう書いているような気がするんで、FLちいが基本的にその液状化しない根拠のメインだっていうのであれば、そっちも記載している方がいいんじゃないかなと思います。
0:21:23	日本原子力発電の阪上でございます。1回確認でございますが、今の8ページ目で、ちょっとまず液状化発生しないとしてますのは、
0:21:36	地下水以上以上というか地下水より上のお話をさせていただいております。で、一方の、地盤の液状化を踏まえた検討としてますのは、
0:21:51	地下水、以下の部分で、の検討の結果で、先ほどご説明させていただいた通り、地上化しないというふうに我々としては判断をしているものの、
0:22:07	追加ですね、指しますので、その沈下量を、ここでは記載させていただいていると。
0:22:14	ところになってございます。はい。
0:22:24	2曲あたり30は持ってこない。
0:22:29	規制庁のスゴウですあれですかね

0:22:33	ちょっと私の理解があれだったんですけど、確かちょっと資料渡し、その地盤側の方の見たときに、
0:22:44	ボーリング孔1個だけだし、その不確かさとか、
0:22:50	何だろう不連続性みたいになるとか、もう1を踏まえて、
0:22:55	どんなため液状カーの検討もしましたってということで、
0:23:00	まずFLGで判断いつ、0を下回らない。
0:23:05	ということで一条家はしないっていうふうに書いてあったと思うんですけど、そうじゃないっていう理解でいいですか。液状化をするんだっていう、液状化する、するしないっていう感じ。
0:23:17	液状化プラスそのなんだろう、揺すり込み沈下とか圧密沈下は、
0:23:25	するんだっていうことなんですかね。
0:23:41	ご質問の件につきましては、ご指摘の通り1校だけ、
0:23:55	すみません、日本原電の阪上でございますすみません。途中ちょっと音声途切れてしまってますって途中が聞こえなかったんですが、
0:24:04	もう一度こす。
0:24:05	的というかご質問を。はい。お願いしてよろしい。はい。はい。規制庁のスゴウですけれども、ただ私の認識だと、
0:24:16	その地盤側の方でまずそのFL値が1より大きいことをもって、液状化とかしません。
0:24:25	と言った後に、
0:24:27	ただボーリングが一行であったり、越冬のその不確かさだったりとか何か不連続性だか何だかも踏まえて、
0:24:36	一応念のため、その値、
0:24:38	液状化した時の沈下量を、評価しましたと。そして揺すり込み沈下とか圧密沈下も加えると、今記載されてる。
0:24:49	0.481とか0.368っていうことでしたっていうことで、今記載されてるのは、どっちかっていうと、メインじゃなくて念のためみたいなところのその扱いだと思ってたんですけど、
0:25:03	そうではないっていう理解でいいんですかね、中間はするんだっっちゃうことでもいいですか。
0:25:11	日本原子力発電の田仲です。ご指摘ありがとうございます。すみません、ちょっと別ですけれども、スゴウさんのご理解の通りです。こちらの資料のパワーポイントの方の作り上、

0:25:26	ちょっと簡略化し過ぎていて最終的な影響のところを考慮した、合計の診療のみ記載しておりましたけれども、資料1-2の方に、自治体プール、
0:25:38	次のそうした結果、液状化しないってことを書いた上で、-ワンシグマの評価値の詰めを行って検討した結果、ルーチン化が幾つになるという評価をしております。そうしていただいた通り、まず液状化がどうかってところについて、パワーポイントにしっかりと反映したいと思います。
0:25:58	ありがとうございます。規制庁長谷ですはいよろしく申し上げます。
0:26:02	すいません、土山でございます。あと、今のお話が、
0:26:08	内容よくまた確認をしますが
0:26:13	補足1-1213あたり書けば、これ以上の説明ってというのは、どこか書いてあれば、場所を教えていただきたいんですが。
0:26:23	日本原子力発電の田仲です。今ご指摘いただいた点についてはですね、こちらの13条の方の審査におきましては、措置開始後ということもありまして、基本的な方として、
0:26:40	既存の小学校3条で行った上で、その証拠前以後においてどうかという観点で出させていただいております。なので今通り、13条としては補足説明資料の1の受
0:26:58	中23、
0:27:00	こちらに書いてある内容が13条としてはすべて目になります。第3条の方で、まずは非常の説明をしているという形になっております。以上です。
0:27:14	わかりました。はい。佐藤村長よく確認をいたします。
0:27:20	ありがとうございます。
0:27:23	ありがとうございます。藤規制協力後です。それでは次に行きたいと思えます。
0:27:35	10、16ページ以降の、ちょっと大戸コアシさんからもう説明がありました蒸発散量と涵養量のところなんですけれども、
0:27:45	もしかしたら、ちょっとまだ整理中だってお話だったので、
0:27:50	トーン変わるのかなと思いつつ、
0:27:56	今ちょっと記載されているのが、温暖期継続ケースで、ちょっと蒸発散量の方は何も書いてないんですけど多分その17ページとかも踏まえると、
0:28:08	蒸発散量も涵養量もオンライン期継続ケースで、やります。

0:28:13	ていうふうを書いてあると思うんですねちょっとその資料1-2とか見ると、
0:28:18	蒸発散量もファイルも温度に論旨を依存するってことで寒冷化ケースでやるとなっていて、
0:28:30	一方でまた16ページ、1-1に戻るんですけど、
0:28:33	なお以降で埋設地のところをまたちょっと違う別途設定しますってなっていて、
0:28:40	全体の設定がどういう考えで、
0:28:45	されてるのがこんがらがっててわからなくなってしまってるんで、
0:28:50	ちょっとそこを教えてもらってよろしいですか。
0:28:54	40%のタナカです。コメントいただきましてありがとうございます。
0:29:00	大城区長ただ基本的な考え方としまして、最終的な評価において、どのように、不正を持たせるか、どのように評価を行うかという観点で、状態設定をしていこうというのが、
0:29:16	ベースにあります。それでその上で、蒸発散量、涵養量の前までに説明していた、地下水のところまでですね、こちらについては基本防水用地下水、
0:29:29	含めて関連課で希釈水量を減る場合を厳しいというふうに考えておりました。一方で、蒸発散量、涵養量、
0:29:40	こちらにつきましては、
0:29:44	廃棄物は設置の浸透水量は多くなればなるほど、水が毎年入ってきやすいということで、
0:29:54	そういう資料が多くなるケースをご指摘であると、厳しい状態になるということで、両管理官よりは混乱し得るケースの窃盗かなというふうに考えております。今はポイントの資料1-1の方には、
0:30:12	16ページに、その旨オンライン経路ケースの状態設定を行うということはしていただいているんですけども、ご指摘いただいた通り、資料1-2にはですね蒸発散量と涵養量、
0:30:23	パート寒冷化と温暖化で両方とも設定するという事態がされてますので、そういう足元わかりやすすくないように整理したいと思います。具体的には今申し上げました通り、調達管理については、
0:30:37	寒冷化係数ではなくて、さらに継続ケースは評価が厳しくなるので、指導をするということで慣例ケースの状態設定の記載について見直したいと。

0:30:49	考えております。ご指摘いただきました。16 ページの、飯野直樹笹野青木のところですね、ちょっと前、
0:31:00	状態設定で、ハイブリッド米設置の蒸発缶量及び涵養量については、別途設定するというところですが、そちらはですね埋設地の上に実際入ってくる。
0:31:16	フェーズですね、更新統量ですが、こちらについては、このプレゼンテーション容量が 510 という数字を厳しい設定で行っておりますけれども、こちらをそのまま入れるという設定はできないというふうに考えております。
0:31:34	実際フェーズ 0 設置の上ですね、こちらも以前ご指摘いただきましたけれども、設置しております、そちらを
0:31:46	表面リリースする及び業務作業ですね、こちらの選定についてこのままこの値を使うことはできないと考えておりますので、こちらについては
0:31:56	改めて、設計側の方で、浸透流の解析を行ってご説明させていただきたいと考えております。以上です。
0:32:04	規制庁のスゴウですわかりましたその何ていうんですか、全体の。
0:32:11	全体の場の地質環境の設定としては、気温降水量地下水までは、寒冷化ケースでやりますと。
0:32:22	蒸発散量と涵養量については、温暖期継続ケースでやりますと、で、埋設地の上だけはちょっとまた別途設定、評価上別途設定しますと。
0:32:39	こういうことなので、多分、資料 1-2 の例えばホ-1 の 55 とかで、涵養量のところにある。
0:32:48	衛藤菅関連化ケースの状態設定を行うとかいう記載が若干間違ってます。
0:32:56	そんな理解でよろしいですか。
0:32:59	日本原子力発電の田仲です。ご指摘いただきましてありがとうございます。おっしゃる通りだと思います。今ここで寒冷化係数の設定を変えているんですけども、前回までの資料の流れを引きずって、このような記載。
0:33:15	なっているんですけどもこのところ等見直したいと考えております。大前提としまして寒冷化と温暖化両方とも評価を行った上で最終的にどちらを選択するかという、
0:33:28	判断が後をしております。なので、今ドボツ作業というのについては、どちらも状態設定の所の方で 1 対 16、

0:33:40	ですね、1-57 ページですけどもこちら両方とも記載していて何をプールのバックの側に行ってしまうと、今ご指摘いただいた通りですので、このところわかるように修正したいと思います。以上です。
0:33:54	規制庁のすいませんはい。設定のそれぞれの設定がどうなってるのかがちょっとよくわかんなかったんで。わかりましたで。
0:34:03	衛藤。
0:34:05	ちょっとさっきも申し上げたんですけど、16 ページの蒸発散量も、今、衛藤管容量の設定に必要なため設定するとしか書いてないんです。
0:34:17	ここも温暖期継続ケースでやるとかっていうのが記載としては必要なのかなと思うんです。そこはよろしくお願いします。
0:34:29	夕食発電の田中です。了解いたしました。ありがとうございます。
0:34:40	すいません規制庁の守田です。ではちょっと続けて進めさせていただきたいんですけども、17 ページのところ、
0:34:50	ですよ。こちらの引き下げの修正をいただいております、最も厳しい設定のところ、黄色の文字で説明を追加していただいておりますけれども、
0:35:02	ちょっとここでちょっと記載部リーに近いところになるんですけども、
0:35:07	ですねこの涵養量の状態設定において、基本と降水量の相関関係において、不確かさを考慮した方が涵養量が多くなるっていうふうに記載されているんですけども、
0:35:20	ちょっとですねこの記載だけだとですね、負担不確かさを考慮したら多くなるっていうのが、そもそもその不確かさっていう言葉だけでは、増加する方向の不確かさなのか、減少する方向なのかっていうところもわからずですね。
0:35:34	不確かさを考慮したらなぜ、その涵養量の増加が多くなるっていうところに繋がるのかっていうところが、ちょっと記載だけだと、
0:35:44	何をどう設定してるのかがちょっとわからないような記載になっているので、ちょっとこちらは不確かさっていうものをどういうものが、そもそもこの不確かさを見込んでいるのか、どのような形の不確かさを見込んでいるのかっていうところと、
0:35:59	それを設定したら、なぜこれが増えるのかっていうところについては、少し明確にさせていただいた方がいいかなというふうに思いますがいかがでしょうか。

0:36:09	田中です。コメントありがとうございます。おっしゃる通りかと思えます。ちょっと基本と透水量の相関関係について、説明が不十分なところありますので、
0:36:23	小関大学に踏まえてもう少し記載をベースとして
0:36:27	私角野を設定、明確にご配慮したいと思います。ありがとうございます。どうぞ、盛田ですよろしくお願ひします。よろしくお願ひいたします。はい。どうぞ。すいません。規制庁の大塚です。今の点なんですけど、
0:36:41	資料上表記は不確かさを考慮した方が涵養量が多くなるって書いてあるんですけど、
0:36:47	これって、実態としては、涵養量を多くした方が保守的なので、涵養量が多くなるように、不確かさを考慮するってことじゃないですか。
0:36:59	池健太さんへの質問です。日本原子力発電の田仲です。はい。おっしゃる通り、改良を多くしたい。おっしゃる通りです。以上です。
0:37:08	アキコですねはいわかりました等ございます。
0:37:12	ちっちゃいんです。その辺りちょっと記載のご検討いただければというふうに思います。
0:37:18	続きましてですけれども18ページ、次のページのところでですね、こちらの文言的な話なんですけれども、1ポツが四つポツがあるんですけども、2ポツ目のところで流出件数0.50と書かれていて、その次のポツのところでは、
0:37:37	徒歩表面流出量、過去降水量の0.5というふうな記載がされているんですけどもこれって、同じMEでしょうか。
0:37:52	日本原子力発電の田仲です。はい。同じものです。表面粒子の0.5の設定を、資料の4.5というところに使ってもちょっと言葉が繋がりにくくて申し訳ありませんでした。
0:38:04	はい、わかりました。ならば、こちらはどちらかに記載をちょっと統一していった方が、同じ意味だと思いましたので、
0:38:14	いいのかなというふうには思います。
0:38:17	はい。日本原子力発電の田仲です。ありがとうございます修正いたします。はい。よろしくお願ひいたします。
0:38:24	続けてになりますけれども、その2、
0:38:30	20ページですね。
0:38:33	20ページのところこちらもう何度も何度も文言の話になって恐縮なんですけれども、ですね、こちら上の文章が二つポツの文章があるんですけども、まず一つ目がこの、



0:38:47	-50メートル1万年後に-50メートルっていうところと、あと、3年後のところは-5.0っていうふうなことで、そのあとに括弧現在比っていうのが-5.0の方とあとその下の-9.0のところだけ、現在って書かれているんですけども、
0:39:05	こちら50メートルと90メートル1万年後の話もこれも一応現在日野はなCっていう認識でよろしいですね。小中こちらだけ現在比って書かれていると、こっちの90メートルのところ、50メートルと-5メートルと。
0:39:22	二つ、1万年後と1000年後で何か設定の仕方が違うのかっていうふうに取り取れ。
0:39:28	迷いとりかねないんですけども、おそらく同じこの下の図から読み取ってるものだと思うんですけどもその認識でよろしいですかね。
0:39:38	日本原子力発電の田中です。ありがとうございます。すいませんおっしゃる通り同じです。記載のほうを修正したいと思います。わかりました。はい。よろしくお願いいたします。
0:39:52	規制庁のすごいそうしたら21ページ。
0:39:57	なんですけれども、
0:39:59	ちょっと前回網を指摘したような記憶があるんですが、
0:40:04	スケッチ周辺の面的侵食に0.1ミリパー年っていうのが、
0:40:12	ちょっと根拠が記載されていないので、確か、何か報告書なり何なりというような気がすんだけど、根拠をちょっと記載をしていただきたいと思うのと、
0:40:25	それから、開所くうの方なんですけれども、過去の六、七十年前、
0:40:36	からの状況を、今回回数、解職の影響はなさそうだっていうふうになってるんですが、
0:40:46	ちょっと六、七十年前から今の1000年間の解釈の分をちょっと言えぬのかなっていうのがあって、
0:40:56	何かこうガイソウしているんであればその話も入れていただくか、
0:41:03	資料の1号を見ると、これプラス茨城県の報告書か何かを、一応根拠にしてたと思うんで、それを付け加えるかなりしてもらえるといいかなと思います。
0:41:24	日本原子力発電の田中です。ありがとうございます。松木周辺の1ミリのその件については、パワーポイントの方にも利用をさせていただいています。
0:41:36	また2点目にご指摘いただきました件につきましても、根拠を、資料1の方から付け加えさせていただきたいと思います。

0:41:46	その上でのご説明になりますけれども、藤本郷専門官の設定というところなんですけど、パコ、5060年70ではなく、50なのかっていうところなんですけれども、
0:41:58	資料1の履歴されてる報告書の方で、伝えている趣旨としましては、旧の岡井側の退職ですね基本的に、
0:42:11	第3以降の産業活動の確定に伴って、進出が進んでいるという評価になっております。具体的には、ダム建設によって須永木田とか、
0:42:26	言って表3の移動があったりさ。そういうこともあって、解釈のNf多くなっていると。
0:42:38	そういうふうな評価になっているので茨城の報告書の方では、衛藤東海の海岸については少ないというような評価になっております。これもございまして、
0:42:55	この写真で、その実際に作業が活発になってきたというもの、航空写真を比較してみると、東海道、
0:43:05	フェーズ0tのおっきいのについては、回収が進んでいないということもありますので、それを踏まえると、人間活動に関するする。
0:43:17	対策の堤であり、言われてる報告書も踏まえて、マーケットの付近ではリスクが、アース全然ものすごい進まないということで考えている。
0:43:29	いうところでございます。以上です。
0:43:33	規制庁の数ですありがとうございますあれですかね、そもそも茨城県この報告書が、
0:43:40	その六、七十年前からの比較でその人間活動とか、そのダムだとか、護岸工事だとか、
0:43:50	そういうの含めた上で、その東海村の
0:43:55	横の方は、退職なさそうですねっていうことを言ってるってのは、そういうことですかね。
0:44:03	日本原子力発電の田仲です。すみませんちょっと私の衛藤柘植の答えをまねくものだったかもしれない。申し訳なかったんですけども、東海、について明確に断言してはるわけではないんですけども、今のご指導先生が60、70年間の分譲活動
0:44:23	いうところは、言われた報告書には全体的に明示してはるわけではありませんので、海岸侵食については、ダムの話に、昔ですね、人口活動によって、基本的に落ちている場合は、
0:44:40	その上で東海のところは水がないと、非常に少ないという評価も載っているというところでございます。以上です。はい。規制庁のスゴウです。大体わかりましたなんかあれですかね。

0:44:56	そうすると、
0:45:00	いずれにしても、何か茨城ちゃんが言ってるっていうのは、
0:45:07	大きな根拠かなと思うんで、
0:45:10	ところ、多分書いといた方がいいかと思えますんで、よろしくお願ひします。ありがとうございます。了解いたしました。
0:45:24	規制庁ヤマダさんの今の件についてですが、
0:45:28	1-67 ページに写真二つII、書かれているんですけども、
0:45:33	左側の写真はですね、藤間の活動が、サスによって遮られて、今の日立港で作田の方、ずっと曲がってる時の写真ですよ。そしたら、岩木は、
0:45:48	やはりそのたまり方が違う人たちのことを、
0:45:52	されているように思えますので、
0:45:56	切った後のもの等をしっかり比較をされるべきではないかと思ひます。また、
0:46:11	埋設地周辺のところがこの
0:46:14	写真よく比較をして、実は溜まっているのかどうかっていうのをちゃんと論証された方がいいんじゃないかと思ひます。今、
0:46:25	書かれているA B C D E F Gって黒線がもし正しい、しっかり対応することとするとですね、河口付近は、(1)は変わってきますので、ずっとこの三角形上に、
0:46:38	対比をするべきけれども、
0:46:43	日本原燃の敷地の周辺では、あと砂浜が後退しているように言えなくもありません。よく、関係を整理してお示してください。
0:47:01	ホームページの発電の田中です。ありがとうございます。整理をしていただきました航空写真のことについて、持ち帰り検討させていただきたいと思ひます。ありがとうございます。以上です。
0:47:16	規制庁の盛田です。ちょっと同じページのところで確認させていただきたいことがあるんですけども、
0:47:23	一番最後の2ポツの線の侵食のところなんですけれども、こちらをませた指摘をいたしまして吸い出し防止剤について少し記載を拡充していただいているんですけども、
0:47:37	ちょっとこれについてどういうものなのかっていうのが少しイメージができない部分がありましてお聞きしたいんですけども、そもそもこの世良氏の資材を設置する市というところについて、

0:47:52	若干郷と風土をほぼ助走秩父層と弱の間に、何かを敷くような、そういうイメージになるのでしょうかというところと、
0:48:04	あともものとして、どのようなものを置くのかっていうところ。
0:48:09	をちょっと教えていただきたいんですけども、いかがでしょうか。
0:48:14	日本原子力発電の小中です。ご指摘ありがとうございます。1点目の場所ですけども、いただいた通り、最終覆土の一番上の、
0:48:26	放送ですね、こちらの上部に行きましてそのイメージを向こうが敷かれるということで郷高祖両層の間に、長。
0:48:36	ということです。また2点目にご質問されました、どのようなものかというところにつきましては、ちょっとまだ今設計の方で検討している段階ではあるんですけども、
0:48:47	野辺ページ等で使われるもので自主性の、アクサとしては、設計、
0:49:00	段階ではあるんですけども、数センチ程度の厚さを持ってきて、空洞になっているようなものというところなんです。そこでNCで作っておりまして、かなり強度がしっかり。
0:49:14	あるもので、上に航行してもつぶれたりするようなことは、なくてですねその隙間で押してそのところに水が流れるようなことができる、そういうものを検討しておりますので検討段階ですので、でございます。
0:49:31	以上です。はい、釜田です。ありがとうございます。検討中というところは理解はしておりますが、そういうものとして、どのようなものを、どのような機能を持ったものになるのかなっていうところでお聞きしたところなんです。
0:49:48	で、えっとですねこちらの記載のところでも少しお聞きしたいんですけども、吸い出し防止剤をいくことによって浸透能力を高めるっていうところなんですけれども、これははい。
0:50:05	今おっしゃられたような、何か空洞になっていて、ていうところ、その吸い出し防止剤を引くことによって、浸透能力が高まるっていうところが少しイメージできなかったんですけども、これどういう。
0:50:18	この場合の話になるのでしょうか。
0:50:21	ちょっと、原子力発電の田中です。すいません。吸い出し防止剤と行動等が今ひとつというイメージでとらえていただいて、
0:50:34	その上で吸い出し防止材の部分に、水が増し水出されるっていうかですね、浸透すると。

0:50:45	ということでそんなそんなイメージです。なので千葉市防災がないと、ほぼ塗装の挙動から下に浸透していく能力っていうのが低くなってですね。
0:50:59	工藤層のところの人がね流れやすくなってしまうということですねそういう意味で、水、振動能力が低い、町民が流れやすいというイメージを追加し放送ことによってその部分を、
0:51:14	きずな流れる流れるので、新統を折るがまた困ると、そういう、
0:51:21	イメージにはなる、なっても恐縮なんですけれども、要は、スポンスポン示威的な、よく吸収する、下に水を通すようなものが、上に強いてあるというところで、
0:51:35	その上を流れるということではなくて、下に入っていくようになる。そんな時っていう表現が正しいかもちょっとわからないんですけど、そのような吸収性、浸透性の高いものを上に置いてあるというところで、
0:51:49	菊池のところ流れないっていうことをおっしゃってるということですかね。
0:52:00	うん。
0:53:48	規制庁のスゴウですはい。
0:53:50	はい今あれ、モリタからのコメン等で、
0:53:55	コメント回答待ちかなと思ってんですけど、すいません。政令。
0:54:09	あ、すみません今ね何もすみません聞こえませんでした。今の伊達増田。
0:54:21	今聞こえてます。
0:54:23	シーボン自体の拠点にあるので、ここに説明をいただきたいと思うのですがよろしいでしょうか。
0:54:40	以上です。はい。わかりましたちょっとこちらについてはもう少しわかるような形で、また改めてご説明いただいた方以降修正いただくというところでしたら、その方が良いかとは思いますが。
0:54:53	ですねその修正をいただくというときにですね吸い出し防止剤っていうところを置く目的的なところで、一般的なその吸い出し防止剤っていうのが、
0:55:04	ど粒子をそのジャカゴの下に敷いている度立Cをなくさないようにというか、祭出して、どんどん削られないようにっていうところが一般的にあると思うんですけど、
0:55:17	何かここでおっしゃられてるのはその浸透能力っていうところが、そこをどう対応するかっていうところのイメージと、あとは先ほど保護層と一体っていうところなんですけれどもその水の流れだったりとか、

0:55:30	どどこ、水浸透していかどうか、そういうどこの場所の話をしているかっていうところも、少しわかるように説明していただいた方がちょっとこちらとしても認識がしやすいかなと思いますので、
0:55:45	そのような形でご検討をお聞きいただければというふうに思います。
0:55:56	そうです。はい。あとですねちょっとここに関連してもう1個恐縮なんですけれども、その次のところろうでですね覆土の締め方名施工によって流水の発生が抑制されるっていうところがあるんですけども、
0:56:10	締め固めることで、流水の発生っていうところに影響がするのか流水っていうのは、表面を流れるだけだと思うので、締め固めるか締め固めないかってそこまで関係をしないのかなというふうに思うんですけども。
0:56:24	これもう、ちょっとまたご説明、今回でもいいですけど次回でも、修正いただいた後にでもご説明いただければと思います。
0:56:36	石森土橋です。
0:56:39	ありがとうございます。こちらについても見直します。はい。よろしく願いいたします。
0:56:53	そうすると規制庁のスゴウです。ちょっと進んで25ページでこれ
0:57:00	単なる確認なんですけれども、
0:57:03	25ページ追記いただいているところの最後で、地下水の流向を確認できるモニタリングを継続する。
0:57:11	言ってるのは、これ
0:57:15	事業規則の15条で監視測定やるそのモニタリング。
0:57:21	そこでやるモニタリングを継続していきますっていう趣旨で書いてるっていう理解でいいですよ一緒に今モニタリングやって、それを今後もやっていきます。
0:57:31	というふうことなのかなと思っちゃったんですけど。
0:57:36	15条側のモニタリングを継続するっていうDがいいですか。
0:57:43	一つ、次のページ。
0:57:54	ありがとうございます。以上です。はい。承知しました。
0:58:00	それから、
0:58:03	29ページでこれも言葉のあれだけなんですけれども、
0:58:08	生活環境の状態設定で井戸水飲用の話が三つ目の四角にあると思うんですけども、
0:58:18	四つめの四国の方の、その西側に流れる地下水のかんがい用水の方は、
0:58:24	最も厳しい人間活動として想定するって書いてあるんで、

0:58:29	井戸水飲用の方も、最も厳しい人間活動でやる、想定するっていうふう に言っといた方がいいかなって思って、
0:58:38	アドバイスだけですか。
0:58:40	41%です。はい。
0:58:47	そしたら次を大塚さんよろしいですか。
0:58:52	はい季節おはようございます。ちょっと首相も国会でなんですけれど も、
0:58:57	29 ページかな。
0:59:03	ソフトなんですけども、
0:59:07	状態設定で、C T O のところで、衛藤。
0:59:15	この土地利用の仕方としてですねこういった梅津新居、衛藤です。欲しい なと思いました。というのも、
0:59:26	第準備のところで、確か前に確認させていただいて、これステート式を 入れるのでは
0:59:40	何百億ですね、そうしたと思うんですけども、ちょっとその話は、 $\beta \phi$ とわからないので、そういった所を公表するんだというところをちょっ と進めていただけると、やすいかなと思いました。
0:59:56	これは資料の構成上のお願いです。
1:00:00	1-5 のところは 29 ページの資料、以上です。
1:00:16	利用ということで、結構、大上小針。
1:00:20	ここん中でN P D な評価をしまして、
1:00:37	それ以外については、少しどこに書くべきかでちょっと考えて、修正さ せていただきたいと思います。確かに 505 着で見込んで、ここで見込ま ないか、混乱させてしまっているのかなと思いますので、
1:00:50	修正させていただきます。以上です。
1:00:52	これ規制庁の大塚でございます。よろしく申し上げます。今おっしゃら れたように確かに 29 ページは、水と土地の利用形態の話をしているの で、
1:01:02	確かにおっしゃられた通りそこに書くともしかしたらかえってコンピュ ーティングなのかもしれないんですけども、いずれにせよその生活環 境の状態設定、
1:01:13	から、被ばく経路がひもづいているはずなので、ちょっとそのどこに書 くかというのをご検討いただければと思うんですけども、パラメータ の根拠集の細かいところを見ないとわからないという状態にはならない

	ように少し、もう少し表に出していただければと思いますよろしくお願 いします。
1:01:28	不夜城風の方で整理しました。
1:01:33	規制庁のスゴウです。資料1-1は、
1:01:38	これぐらいかなと思うんですけど、ほかにコメント、規制庁があります か。特になければ、一応このところ、
1:01:48	23ヶ月を期間、
1:01:51	当山でございます。すいません。先ほど一条カーの話のところ、ちょっ と記載されてるかもしれませんので、されてれば
1:02:01	同意されてるかってだけ教えていただければ結構なんですが、
1:02:07	どの基準事情から判定をしているのかまたその何年版で行っているかと いうことを、教えてください。で、
1:02:15	例えば道路供試褒賞を使われて、それが残念版をしていると、いうこと であればそれを教えてください書いてあるなら書いてあるところであ っていただければ、
1:02:27	結構でございます。それから、その時の水平地震動を0.2で行っている のか0.4で行ってるのか、ここも教えていただければと思います。以上 です。
1:02:53	はい。東郷原子力発電の坂上でございます。後、ご質問の件につきまし ては、当陳情13条、
1:03:03	方の資料に、記載はされておられません。江藤第三条の方で記載をさせ ていただいております。
1:03:14	そちらの内容を、今ご説明させていただいた方がよろしいでしょうか。 今お答えいただければいただければありがたいです。
1:03:27	はい。
1:03:28	こっちと、
1:03:46	投票示方書ありますね。
1:03:53	平成29、20、すいません、日本原電サカガミでございます。
1:04:01	今おっしゃっていただいた通り道路供試褒賞の平成29年版、
1:04:07	もので評価をしてございます。29年度はい。はい。
1:04:15	8新藤沖地震につきましては本番に0.2ページ。はい。大川市長。わか りました。はい。ありがとうございます。
1:04:28	今の情報というのは三条のほうの久田伊井で確認できるということによ ろしいですかね。



1:04:36	日本原子力発電の阪上でございますはい。三条の方の審査資料の中に記載させていただいております。ありがとうございます。
1:04:45	はい。
1:04:47	そうですしたら次資料1-2に移りたいと思います。
1:04:55	規制庁の盛田です。1-2についてですねちょっと1点確認をさせていただきたいことがありまして、えっとですね1の補足1、ページ数がですね報1-添付1-44ページ。
1:05:14	44ページのところでですね、こちらでA c 層の薄層の分布図が示されているかと思えます。
1:05:25	この分布図を、ボーリング孔を鉛直ボーリングの情報から作成されているかと思うんですけども、
1:05:35	こちらでですね、
1:05:40	作成された時にメインで赤赤で示し赤丸で示した情報が、は強調して書かれているんですけども、こちらの城間溜羽で示したものと黒丸で示したものを、これ、ここに載っているすべての情報を、
1:05:56	踏まえて、このシートの分布図というものを作成されているという認識でよろしいでしょうか。
1:06:11	はい。日本原子力発電の阪上でございます。ご質問ありがとうございます。こちらにつきましては、地質の分布という観点では、白丸のものも参考にして断面図、
1:06:26	等を記載しておりますので、その断面図に基づいてこのA Cの総務部が記載してございます。
1:06:34	従いまして、衛藤世良丸野参考という形で評価してございます。以上でございます。規制庁の盛田です。ありがとうございます。そちらの情報も踏まえて断面図を作成されて、その上で、文法作られてるところで理解いたしました。
1:06:52	で、こちらの城間溜羽であるとかってところの他の図とのちょっと関係性にもなるんですけども、あのですねこちらそのシマ広まるで書かれているものだったりというのが、
1:07:06	例えばですね1期の
1:07:10	添付、添付1-11ページのところ、
1:07:14	ですねちょっと前に戻りますんですけど一番11ページのところでもボーリング孔のその情報が記載されておりますので、こちらを見るとですね、例えば小文字のd -- 6 やったりとか、
1:07:26	藤飯野6であったりとか、そういうものもボーリング孔に名前がつけられて記載はされているんですけども、

1:07:34	この辺の情報っていうところも踏まえられてるM a a S一応掘られてるものっていうところがすべて、参考にして作られてるっていうそういう認識でよろしいでしょうか。
1:07:46	先ほどのA c層の図のところではこのコミュニティーの力でやっている力だったりとか、そういうところの情報は書かれていなかったんですけども、
1:07:56	両方として使っていくという認識でよろしいでしょうか。
1:08:04	はい、原子力発電の阪上でございます。おっしゃられる通り、基本的に断面図を作成してというところでボーリングでわかっている。
1:08:16	情報については、常参考にはしてございます。すいません。
1:08:22	吉川モリタです。
1:08:25	はい、ご指摘いただきました。黒丸のところについても参考としては、
1:08:33	評価をしてございます。
1:08:36	規制庁の丸田です。参考として確認をされてるっていうところなんですけれども、例えば白丸であったりとかっていうところを、このC S薄層が、
1:08:49	内定されている部分については、これはもうそのボーリングコア自体を確認して、その層がないっていうところも確認されてるという認識でよろしいでしょうか。
1:09:00	先ほどは地質図を作ってたっていうところでおっしゃってたんですけども、実際コアを確認してその層がないってところの、あるところはその層があるんでないところのボーリングコアについては、J C S薄層がないっていう、そういう、
1:09:15	確認をされてっていうことでよろしいでしょうか。
1:09:20	はい、どうぞ日本原子力発電の坂上でございます。今日のご指摘いただいた認識で基本的には、その通りでございます。
1:09:31	もう少し細かく言いますと、先ほどの白丸の部分で記載しているボーリングというのは、かなり古いボーリングも含まれております。で、そういう古いボーリングでコアが残っていないもの、
1:09:46	につきましては、コアを直接はもう確認できないという状況ですので、その通り作られた柱状図がありましてその柱状図をもとに、それを参考にして、A c層がありますというのを判断した上で、断面図、或いは先ほどの分布図等を作成してございます。
1:10:06	以上です。
1:10:07	玉井です丁寧にご説明いただきありがとうございました。そのボーリングコアを確認したものと中譲受の過去に柱状図として作られたものを確

	認して、最終的にこの図が作られているところにつきましては理解いたしました。
1:10:22	それをちょっと書いてもらうんですね。これ、両方からこれ書けないんですよね。そう。そうですね。
1:10:30	本当そうです。今ちょっと、ヤマダの方からも、私の方に式が入ったんですけども、そういう形で、この図が作られたっていう、この図自体が、どうやって作られたかっていうところが、
1:10:46	詳しいわからない部分もちょっと説明が今お聞きして、やっとわかったところにはなるんですけども、三田だけでは、ちゃんとその内コアのデータであったりとか、その柱状図のデータであったりとか、そのあたりをすべて踏まえて作りましてっていうところが、
1:11:02	少しわかりにくい部分になってますので、少し文章なりでも構わないかと思えますけれども、説明を補足していただくことは可能でしょうか。
1:11:15	はい。日本原子力発電の阪上でございます。承知いたしました。今のご趣旨を踏まえまして、ボーリング柱状図、白丸も含めて地質分布部ですとか地質断面図を、
1:11:29	作成しているというところを、読めるような形にさせていただきたいと思えます。
1:11:35	はい。よろしくお願いいたします。
1:11:37	あと、もう1点ちょっとし、これはもう大した話ではないかもしれないので確認なんですけれども、今見ているその1-6-3-3図、1-74ページのところですね。
1:11:51	の図ではですね、F、F6っていうものが、
1:11:56	発電所の海側の部分にある黒丸であるんですね、F--6っていうものが⑦の赤の近くにあるんですけども、
1:12:07	こちらのF6という番号がですね、
1:12:11	先ほど1の11ページのところの、
1:12:15	1の第1-4--1図の方では、別のところにF6という花があるんですね、これ。
1:12:25	これは他の穴を見ると、場所等名前が一致してたんですけどもこのF6っていうところが一致してなかったんですけども、これはなぜでしょうかというところなんですけれども、
1:12:39	議長。
1:12:44	f-1-6図っていうのがですね1の第1-4--1図、ここで補足の添付1-11ページのところ、こちらだとですね何か引地の真ん中辺りにF-6というものがあって、

1:12:57	先ほど言った、先ほどの図でも、F6 っていうのが、
1:13:02	1 名になるのか、ちょっとわからないんですけども、
1:13:07	ちょっと場所と名前が一致しないものがあるってですね、それが何なのかというところを教えていただければ、
1:13:18	はい。日本原電の阪上でございます。ご指摘の、
1:13:22	点につきましてはちょっと誤記の可能性もありますのでちょっと確認してですね、不適指数間違ってる場合は適切に修正させていただきたいと思えます。はい。そちらちょっとご確認をいただければというふうに思えますよろしく願いいたします。
1:13:37	以上です。規制庁のスゴウです
1:13:45	もう 1 点 2-12 ページ。
1:13:52	ですが、
1:13:54	自然現象の選定のやつですね。
1:13:58	2-12 で、
1:14:00	中へ、台風、竜巻があって、
1:14:07	事象はこの風、台風に含まれるっていうふうになってるんですけども、
1:14:13	衛藤。
1:14:14	ちょっと素人的に、
1:14:17	下米の影響を考えると、竜巻の方が大きいような気がするんですが、この台風に含まれるとした理由を教えてくださいいいですか。
1:14:30	日本原子力発電の田中です。ご指摘の点につきましては竜巻とですね同じ数の上に調べるということでどちらかに交換されてるということで考えたんですけども、
1:14:43	確かに集まりがちょっと直撃すればですね、中間的な部分的な不足っていうのは大きくなるってのはその通りだったと思いますが、きっとですね立町の発生確率がですね実際、
1:14:59	日常のバリア機能に影響を及ぼすと考えると、非常に可能性は低いだろうという判断もありまして、読まれると、より事象として、
1:15:14	一般的で評価をする必要があると考えたのは再課税待遇の方を考えてこちらの方にも話したというところですよ。以上です。
1:15:24	規制庁の符号です。
1:15:27	考えはわかりました。
1:15:29	それを書いていいですか。

1:15:34	日本原子力発電の田中です。ありがとうございます。はい。竜巻キーを動かせる件につきましては、記載をいたしたいと思います。以上です。はい、規制庁の方でよろしく申し上げます。
1:15:48	資料1-2、よろしいですか。
1:15:51	はい。
1:15:52	そしたら資料1-3の、生活環境の状態設定の話ですね。規制庁の森下です。1-3の資料について少しお聞きしたいところがあるんですけども、
1:16:07	補足2-6ページ、
1:16:10	ですね、ここにですね、自然シナリオの中で、海水準変動海水準変動が、
1:16:20	生活様式への影響がないというところの記載がされているんですけども、こちらがですね、海水準変動が地下水への影響あるが生活様式への影響はないというふうな記載がされております。
1:16:34	で、実際ですね海水準が大きく変動した場合には、海水生活環境への影響自体は、一般的にあるかとは思いますが、
1:16:46	今回影響がないっていうときに、じゃあ例えばこの今回のそのケースで、支出環境の検討している中で、どれぐらい変動して、その辺のが、
1:16:59	生活環境へ影響しないレベルのものであるとか、そういう話であるんだったら、未開はできるんですけども、これだけだと、解析変動のが物理的に地下水にしか影響ない現象であるようなとらえられ方をしてしまうので、
1:17:15	そこは少しもう少し、例えばですね、隆起侵食のところ、少し前のところでですね隆起侵食の説明があって、これらに空隙侵食については、進行が緩慢であって、影響を無視できるとか、そういうような形の記載であればわかるんですけども、
1:17:35	影響がないと言い切るっていうのが少し違和感がありますので少しこちらは、考え方の記載を再度ご検討いただければというふうに思います。
1:17:47	本章活動に対してご指摘ありがとうございます今言われましての意見につきましては、少し記載を、地域性等で明示させるなどの対応でいきたいと思います。ありがとうございます。はい。よろしく願いいたします。
1:18:00	もう1点なんですけれども、補足の2の8ページの方ですね、こちらでですね、(2) へ括弧2のところ放射線物質が移動する範囲というふうなことが書かれています。

1:18:15	で、こちら、一般的に一般的というか、今日が浸透雨水が浸透して、地下水移行地でその後、地下水を介して、広がっていくと。
1:18:29	その間に土壤に吸着するというような説明がされていますけれども、
1:18:33	移動する範囲っていうところなんですけれども、これ実際評価上でもそうですし海に出ていってっていうところもされているかと思えます。 で、
1:18:45	実際の現象なのに今回整理されてる現象としては海に出ていってそこから外洋に出ていくものであったりとか、あとは海に出ていったものが、海岸に出てくる、海外に戻ってくるものっていうところの、後段の整理のところで包含関係、
1:19:02	今、以前ちょっと指摘をさせていただきましたけれども、
1:19:05	最終的に包含関係で、こういう経路を設定するというようなところはされているんですけれども、
1:19:11	ここで移動する範囲というところでは、実際にその考える範囲として、どこに行くかっていうところを記載していただいた方が良いかと思えます。その上で、
1:19:21	評価上は、検討はしませんというところではいいかと思うんですけれども、
1:19:26	上に、これこの記載だけだと、地下水の中にいますってというような、もうそこまでしか書かれてはいないので、その子、どこにどうするか、海海に行って海からどこに行くかとか、あと井戸水に行くだとか、
1:19:39	そこの花Cも、
1:19:42	考え得る、その移動する範囲、すべてここは列挙していただいた方がいかなと思います。
1:19:49	なので、少し今後、記載を拡充してその上で、先ほど言ったように後段のところで、包含関係で落とすなり、影響がないから落とすなりとかっていうところで、
1:20:00	していただくという整理をしていただいた方が良いかと思いますが、いかがでしょうか。
1:20:07	日本原子力発電の小橋です。ご指摘ありがとうございますこちらの方で検討した補助金、補正技術の移動の範囲ですね少しこの中に追記する形で網羅できるように書いて、その上で
1:20:21	秋葉教諭の選定のところの考え方を説明できるように、ここは記載を充実させていただきます。ありがとうございます。はい。どうぞよろしく願います。こちらの資料につきまして私から以上となります。
1:20:34	はい。はい視察後です市野さん、ほかよろしいですかね。はい。

1:20:42	ただ、
1:20:43	12日にいただいた資料は以上なんですけれども前回Twitter日付ですかね、提出いただいた資料の2の、
1:20:55	放射性物質の種類と量の設定のところ聾の資料2ってやつですね、こちらについて、ちょっとコメントを引き続きさせていただきたいんですけどよろしいですか。
1:21:11	日本現象だと難しいです。よろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。規制庁の堀田です。ちょっと続けて私から指摘をさせていただくんですけども、
1:21:21	今回、前回の会合を受けて記載を充実していただいてありがとうございました。で、私の方で少し流れを簡単に計算していくような形で確認させていただきたい。いただいて、その上でちょっとお聞きしたいんですけども。
1:21:39	えっとですね、今回コンクリートと金属のところの計算の代表的なものの計算例を示していただいているんですけども。
1:21:47	1点確認がですね、補足5No. 2の2-3ページ。
1:21:53	のところで表が2-2ページの3ページに評価させられていて、2-3ページのところにコンクリートのブロックとがらの情報が表の中で載せられていますけれども、
1:22:05	こちらに載ってるコンクリートの情報っていうところは、これですべてではないということでもよろしいですよ。汚染がらであったりとか放射化からの量も若干、
1:22:18	少ないような気もしていて、他にもそのコンクリー等、汚染物っていうものはあって、最終的にその計算で出てくる。
1:22:28	コンクリートの量、コンクリートの方に含まれる放射性物質の量っていうところは、もう少し要望があった上で計算されたものっていう認識でよろしいでしょうか。
1:22:38	日本減少額に対して質問、今、ご指摘があった通りでございます特にコンクリートブロックはこれで後段されてる、すべて記載されてると思うんですけど、保育所外については、以前
1:22:51	この表を作るにあたって10-8乗ベクレルの放射能超えないものを、除く中で、大部分を起きてしまっていて、特にコンクリートガラっていうのは申し訳ないが低いんで、ここに反映されない形になってますので、ここにあるのがすべてではなくて、
1:23:09	特に木暮については少し需要があります。以上です。ありがとうございます。ちょっと若干計算していく中で通知が合わないかなって思ってい

	たところがありましてそこは今回記載されてないところも含まれてるということかなとは思いますが。
1:23:28	にそういうことで理解いたしました。
1:23:32	で、続けてですね、えっとですね、2-5 ページのところ、
1:23:39	2-5 ページのところちょっとこれまで何度も確認してるのかと思ってきて欲しくないんですけども確認なんですけれども、こちら第1図のフローを示していただいたんですけども、
1:23:52	こちらの中で計算した最終的な放射性物質の種類ごとの放射エネルギーのところについては、
1:24:01	方についてはすべての機器に対して計算してそれぞれ計算して行って、それを合算した値っていうところが、最終的なこの量になるという認識でよろしいでしょうか。
1:24:14	勝野講師その認識で間違いございません。わかりました。
1:24:19	なので先ほど言ったようなコンクリートのブロックで計算したもの、須賀に対してもそれで計算して最終的に組成比だったりとかもそれぞれによって変わってくるかと思えますけれども、
1:24:31	それぞれの組成比で計算して、DCにさせていただいてそれを合計したということで理解をいたしました。
1:24:39	で続けてですねこちら、
1:24:45	同じところなんですけれども、こちら、その主要な核種の数、選定っていうところに用いる放射エネルギーっていうのは、
1:24:55	基本的にはこのフローの中で第1図のフローの中で、放射性物質の種類ごとの放射エネルギーの設定っていうところから出てきた値を、
1:25:05	計算して先ほど合算した値っていうところを用いてるっていう認識でよろしいですかっていうところと、あとこのフローの中で1.2倍がここでされてはいるんですけども、
1:25:16	主要な核種の選定のところは1.2倍はせず、選定はしてそのあとの最終的な設定のところ、1.2倍をしているという認識でよろしいでしょうか。
1:25:28	ちょっとこの1.2倍はどこのタイミングでやってるかっていうところとあと、
1:25:32	その主要な濃度を、主要な核種を決めるときにどの部分の値を使ってるかっていうところについて少し教えていただけますでしょうか。
1:25:41	日本原子力発電の小橋です。このフローにつきましてはこのままR I S Eもそうですし、次の保険金とかもそうなんですけど、これ木曾放射エネルギー地域放射エネルギーの算定の流れを示したものでございまして、



1:25:57	今盛田さんがおっしゃられたその各種選挙を行うための放射性物質の濃度ですと、実は一遍に該当してないということもありますし、今度小橋セシウムの比で、カーボン、
1:26:11	大内の道路改良のこともしていますんで、この頃は、実はその創業者等を請求する流れだけに特化して、
1:26:20	これを総括させていただきました。なので、核種選定について言いますと、基本的にはその前段の設定等で金属に分けて、両者の分を積み上げ、
1:26:33	もう小口でございます。そうですね。ここの濃度のところっていうところで、選定をして、最終的に 1.2 倍なりっていうところをして、最終的な放射エネルギーに、
1:26:47	使用する放射能リングに直すっていうような、そういうところですね。なるほど。わかりました。ありがとうございます。理解いたしました。で、えっとですね、もう 1 点聞きたいところが、2-8 ページのところ、
1:27:04	でですね、こちら金属の方のフローを載せていただいているんですけども、こちらがですね右側に書かれているのがコバルト 60、セシウム 137 であって、やっぱりカーボンフォーティーンだったりとか、
1:27:19	その有井の特別なものについては書かれてはいるんですけども、それ以外のものっていうのは基本的には、コンクリートの、
1:27:31	コンクリートの放射化のところの総工作物のフロー、全核種って書かれているものと同じような流れでやられてるという認識でよろしいでしょうか。
1:27:45	コバルト、途中の壊れとセシウム 137 と引いて或いは算術平均であったりとかそういうところが入ってこないような形で、第 1 図のところのフローと同じ流れでやられてるという認識でよろしいでしょうか。
1:28:00	日本原子力のコアシです。ここはそうですね汚染放射性金属の O S L 現実管理、例を挙げて参加させていただいておりますが、当社からの継続については方針コンクリートと同じ流れで算定をしておりますので、今盛田様がおっしゃられた通りの主幹となります。以上です。
1:28:18	ありがとうございます。衛藤岩瀬放射性物質のところっていうのは、これこの核種以外は、今は放射化の方はそのフローでやるっていうところなんですけども、
1:28:31	汚染物質その他の学習っていうものは、計算はされていますよね。
1:28:38	公立以降の流れとしてはどうなのかなっていうところなんですけども。

1:28:43	日本原子力発電の小橋です。ここはですね金属類の総放射エネルギーの設定の流れを示させていただいたので、核種選定されたことを末子を対象とした説明のみにさせていただいておりますので、
1:28:59	この後のうちの方の間には計算をしていて、非常に低くても確認をしているんですけど、ここで申請方法に使うものだけを取り上げさせていただいて、説明をさせていただいております。規制庁の盛田です今そういうことでした理解いたしました最終的な総放射エネルギーとして
1:29:19	選定した後の話っていうところで、これに特化して書いてあるっていうところで理解はいたしましたってございます。中の最後に確認なんですけれども、こちらの第2図のフローのところ、
1:29:36	多分塩素 36 以外は 1.2 倍にっていうところなんですけれども、こちらトリチウムであったりとかカーボンフォーティーンであったりとか、それらについても、何か一般的に一般的にというか、
1:29:52	濃度選定をした後に再設定をするっていうような形はされているかと思うんですけど再設定をした後に 1.2 倍、それトリチウムだったりとかポーティングを 1. 二倍してるということなんですか。
1:30:04	2 年 10 月の詳しいですその通りでございまして、トリチウムやカーボンについては 1.2 倍をして、これ 36 ぐらいを基本的には、一遍に努力してくれます。わかりましたじゃ再設定をし、濃度をまず、
1:30:21	出してそれを改めて再設定をして、その上で 1.2 倍ということで理解をいたしました。私からはそれですべて一応確認はできましたのでありがとうございます。以上あります。
1:30:35	よろしくお願いいたします。
1:30:40	規制庁のスゴウですそしたら本日のヒアリングで我々からの指摘は以上になります。
1:30:49	衛藤。
1:30:52	なるほど。ちょっと本日のコメントを踏まえて、来週の審査会合の資料を、すいません、月曜日 12 いただきたいなと思ってるんですけども、それ。
1:31:08	可能でしょうか。人間就学の河内です。それで 90 年に湯という日が指定されていたので、その基準で対応するんですが、ちなみにあの時間なんですけど、1 番地までというのはございますでしょうか。
1:31:26	営業すごい規制庁のすごい営業時間いただけるとありがたいなというぐらいですねはい。
1:31:36	わかったら俺、

1:31:41	ページぐらいまでを目指して提出させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。1点ちょっと確認で、ちょっと最初の方に、指摘のあった
1:31:53	地質環境の状態設定で埋設地の数、設計とか対策をもって除外してるやつは、
1:32:04	埋設地の状態設定の方でっていうことで、今、結構
1:32:11	それを理由にこう記載してると思うんですけど、
1:32:17	資料の修正の方向性として、あれですかね、その保護工なりの話は全部こうを落とすイメージですかね。
1:32:28	日本原子力発電の田中です。すいません。疼痛を落とすというのは、あれですね、理由から、
1:32:41	方向方向でというそういうような記載を、根拠を除くというそういう意図でしょうか。そうです規制庁の宗で修正の方向性と、今その方向とか、
1:32:54	例えばなんですけど、侵食であったら、今の吸い出し防止材があるとかそういう理由で
1:33:02	考慮しないっていうふうな結論になってると思うんですけども。
1:33:06	今日の我々とのやりとりで、基本的に対策系は、
1:33:15	この後の埋設地の状態設定のところで、取り上げるっていうことなので、次回の審査会合の資料のこのその保護工なりで、
1:33:27	影響しない、考慮しないっていうところは、考慮するっていうふうに改めた上で、その方向の記載とかそういうのはすべからず資料から追ってしまうようなイメージかなと思ってちょっと今聞いたんですけども。
1:33:47	日本原子力発電の仲です。こっちのありがとうございます。私もちょっとそこのところの記載を考えていまして、なるべく説明資料の1の時点で、
1:34:01	それは説明をしたいという思いはある一方で、事象ですね、状態設定、設定の方で評価するとしているのが、地震津波、
1:34:16	あと降下火砕物があるんですけども、そちらの記載とあまり構成が取れないっていうのも、
1:34:25	よくないかなと思ってます。今記載についてちょっと考えていたところなんです。あと整合合わせるとすると、あまり具体的なところまで、ここで書くというのは、ないのかなっていうイメージがちょっとありました。すいません。
1:34:43	できれば、2提供は考慮するんだけどと、考慮しますと言って、ただしとかでして、方向とか設置する、する。

1:34:59	とかなんか、
1:35:02	なんでしょう、方向によるなんだろうな、その影響とかについて、何ついたら設置することによって、その影響は、
1:35:14	考える必要がないと考えているっていうか、その詳細はその3ポツの埋設地の状態設定の方で述べるけど、そういうふうと考えているみたいなことを、
1:35:26	頭出しぐらいしておいてもらえると。
1:35:30	多分ちょっと次に繋がりがやすいのかなと思って、私がちょっと懸念したのは、全部ざっくり落ちちゃうと、
1:35:38	すべてが見えなくなってしまうんで、ちょ、ちょっとでも、
1:35:44	頭出しぐらいはしておいて欲しいなっていうのを、リクエストでいいです。いただきましてありがとうございます。了解いたしました系統ではなくて、ある程度浸透は示した上で、
1:36:01	ご説明4の方で、
1:36:04	そういうところを頭出したいと思います。いただきたいんですけども、先ほど進捗関係で、評価に関連するご指摘をいくつかいただいておりましてその記載の充実、
1:36:20	としようと考えているんですけども、実際にそのところの対策の中身とか妥当性とかがどうかというところの議論については、
1:36:31	今回、補足の1の範囲でやられるのかそれとも、対策として、まず篠田設定の方でやれば、どちらになるんでしょうか。そうです。そうですけどですね。
1:36:46	懸念みたいところは伝えると思うんですけど、実際に、その何ていうんでしょう。審議というか、
1:36:56	するのは次回かなと思ってます。
1:37:02	保健所加瀬野中です。ありがとうございました。では次回の審査、の資料の内容も踏まえまして、記載の方を提示していきたいと思います。ありがとうございます。はい。
1:37:14	規制庁のスゴウですよろしく申し上げます。他ありますか。よろしいですか。
1:37:21	はい、原電から何かありますか。
1:37:24	日本原子力のコアシですちょっとし、審査会合で一つお願いがございまして、8月の大学に提出した資料について我々

1:37:36	いろいろご指摘をいただきまして表現であるとか、説明が足りない部分であるとかを、随時修正させていただいております、前回のヒアリングで申しましたように、
1:37:48	近藤の不適合ではないんですけれども、不適合なんですけど、評価に誤りがあった点については少し、弊社の社内の中でも多く増えております、その件については少し審査会合の中で一言だけ
1:38:02	これの方からご取材となりますと、述べさせていただきたいなと思っております最後で、小さいの最後ですけどね、一言だけ述べさせていただきたいなと思っておりますが、よろしいかったですでしょうか。
1:38:16	あれでしょ。
1:38:18	規制庁のスゴウです言っていただいても構わないと思うんですけど原電さんの中で、重く受けとめてらっしゃるってのはそれは、
1:38:34	いいことかなと思う一方で、そのうちとの関係では、
1:38:40	当資料的にその何で申請書にですね、まちがありましたとかだったら結構重いんですけど、これから数
1:38:50	審査するっていう審査資料の扱いで間違いがあったぐらいなんで、適宜直してくれば、我々としてはいいかなと思ってるんですけども。
1:39:04	いや、それでもどうしても表明したいのであれば、
1:39:07	わかりましたとしか言いようがないんですけど。
1:39:10	あんまり
1:39:14	あまりは我々としてはそこまでを、我々との関係ではそんなに今は大きくないかなと思ってるんですが、どうですか。
1:39:25	井上柴崎です。言われる通りかと思imasのでちょっと社内でもう一度持ち帰って、改めてそこら辺を言及するかどうかというのを確認させていただいて、
1:39:36	もし何かをどうしてもということであれば一番最後、運営なり、
1:39:43	一般の申し述べさせていただきたいと思imasので、ありがとうございます。
1:39:49	規制庁の宗です。はい。よろしくお願imas御社の中で、重大に受けとめているというのは、良い、良いことだと思imasので、
1:40:00	より品質を高めるために、いろいろやっていただくのは結果となっておりますのではい。
1:40:07	よろしくお願imas。それを表明するかどうかちょっとご検討いただければ。
1:40:12	はい。

1:40:13	では藤平ありがとうございますはい、今現在サカガミでございます。1点だけよろしいでしょうか。はい。今日ご質問いただきましたボーリングの絵と、F6が二つというか位置が違うのではないかとご指摘につきまして、
1:40:31	今確認しましてこれ、大変申し訳ないSFロック等がですね、他にもそうなんですけど、当会のNさん側の敷地で、
1:40:43	ボーリングしたときに、A-1とかそういうメッシュを切りまして、番号振ってるものと、
1:40:52	それ以前に討議側でボーリングを実施したときに、とか、数字で熱傷切ってるっていうのがありましてたまたまこのF6というのは、
1:41:03	近くに二つあってですね、全体として表した時ですとか、L3だけであらわせるときっていう時に、F6が二つあるんで、場所が何か違ってるように見えるんですけど、両方ともF6になります。
1:41:21	規制庁のモリタですそういうことでしたら理解いたしました番号新しく番号をつけたものが、たまたまその昔番号振りしたものとかぶってしまったということですね。
1:41:35	そういうことでしたら二つあるというところが、5期ではなかったというところで理解はいたしました。一方でですね、そういうこともあるということなんですけれども、検討されてるデータ、
1:41:48	自体が、そういう同じ番号のものだったりとかであるってなると、その混同してないかっていうところについても、一応改めて確認だけはしておいていただいた方が、
1:41:59	良いのかなと思います。
1:42:03	日本原燃阪上でございます。初期追加いたしましてありがとうございます。名簿が違いますので、基本的には取り違えるということがないと思ってございますがご指摘の通り、
1:42:16	再度ですね、チェックいたしまして、混同してないかということも含めて、確認させていただきたいと思っております。以上です。はい。よろしく願いいたします。
1:42:30	規制庁の宗です。他よろしければ、本日のヒアリングは、ここで終了したいと思いますのですがよろしいですかね。
1:42:41	はい。本日のヒアリング終了します。ありがとうございました。ありがとうございました。